1977年12月3日　第3種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の発行）

SSKP 一粒の麦

みんなで作った桜の木（めぐみの里）

〒377-8567 群馬県渋川市渋川4418
TEL0279(22)1730(代)
URL http://www.meguminosono.jp/
E-mail meguminosono@dan.wind.ne.jp

◎巻頭言◎

高齢者の運転

エステル施設長　福田　政彦

近年まれにみる勢いで見聞きするようになった社会問題に高齢者による自動車運転事故があります。

アクセルとブレーキの踏み間違え、高速道路の逆走など毎日のように報道されていますが、後を絶つ気配さえ見えません。

運動能力や判断力の低下、さらには認知症などが原因と言われますが、免許返納はなかなか浸透せず、繰り返される悲劇を防ぐ有効な打開策を見い出せない状況です。

高齢者にとって、免許返納に抵抗感を持つ方もいたり、認知症になり返納自体を考え付かなかったりするケースもあるようですが、公共交通機関が十分でない地方では特に、買い物に行くには車がないと不便との声が多いようです。

その対策として、免許証を返納した高齢者に対して、タクシー券やバスの乗車券を支給する自治体も増えています。駅や病院までコミュニティバスを運行する自治体、買い物支援のサービスを開始した自治体など、全国各地で移動手段の確保、免許がないことの不便さ解消に向けた取り組みが強化されてきています。

また、法的には、六月までに道路交通法が改正され、七十五歳以上の運転者に対する認知症対策の強化が図られる予定です。

認知症の人は十年後には現在よりも二百万人増えて七百万人、高齢者の五人に一人になると推計されています。

人を傷つけることなく、自分の身を守り、家族を悲しませないためにも、いざとなったら運転をやめることを考え、備えておくことも必要ではないでしょうか。

〈特　　集〉

カナン・ゆうかり一周年

特別養護老人ホーム「カナン」・高齢者デイサービス「ゆうかり」は、本年四月一日で創立一周年を迎えました。

「カナン」のこの一年を振り返ってみますと、忘れもしません、四月八日に最初の利用者を迎えました。職員はそれまで、全職員で勤務の流れや支援のマニュアルを作成し、確認のための研修を実施していました。

体操の様子

しかし、支援が始まると充分に検討していた内容でも、常に確認が必要でした。最初に利用された利用者は職員の「待ってましたの意気込みに」圧倒されたのではないでしょうか。お互いの緊張がほぐれてきたときに、新たなご利用が開始となり、半年間は、そのことの繰り返しで、皆様方の支援を実践することで精一杯でした。定員四十名となりましたが、悲しいわかれもあり、日々支援の難しさを感じてきました。

りんご狩り外出

「ゆうかり」は、四月一日から利用者を迎え、手探りでの対応でした。しかし、利用者の皆様方と日課を考えて過ごすことができ、また、教えていただくことも多くあり、楽しく過ごしていただいているようで、常に笑い声が響いています。また、季節の催しや外出等も計画し進めることができました。

今後は、建物スペース一階の有効活用も考えています。地域の方々に利用していただけるような場所にするために、設備も整えていきたいと思います。

中庭で野菜作り

MEGUMI
パン工房 マンナ
手作り 焼きたて
ふっくら パン
をどうぞ。

営業：月曜～金曜日（定休日：土曜・日曜・祝日）
午前10時30分～午後5時
住所：渋川市渋川3646-3　TEL：0279-22-1712

ご支援とご協力をお願いいたします

会員の方には年4回発行の「一粒の麦」（恵の園ニュース）をお送りします。

ご協力方法

1. 正会員：毎月一口500円
2. 賛助会員：随時随額または年会費1000円のワンシートサポート
3. 募金箱の設置協力
4. 使用済み切手収集も

恵の園後援会 ☎0279-22-2823

赤い羽根共同募金より電動ベッドの助成

赤い羽根共同募金からの助成により、グレイスホームに13台の電動ベッドが設置されました。7年前に15台、今回13台の電動ベッドを整備することができ、31名の利用者のうち、ほとんどの方が電動ベッドを利用できるようになりました。

グレイスホームでは、利用者の高齢化や障害の重度化が進み、自力でのベッドからの移乗の際に、転落などが目立っていました。利用者からは、自分に合った高さに調整するができるようになって、ベッドから車椅子への移乗が楽になったとの声も聞かれます。転落の危険も減り、自立度も増し、より安全で快適に過ごせるようになりました。

この度は助成をいただき、誠にありがとうございました。

ありがとうございました

介護用リフトの活用について

厚生労働省「福祉施設における腰痛対策指針」にて、支援現場での福祉機器の活用が定められたことを受け、あけぼのホームでは、介護用リフトを購入しました。介護現場における腰痛は深刻な問題です。安全な利用者支援を継続するためにも、職員の根本的な身体負担の軽減が急務でした。

介護用リフトの活用にあたり、まず移乗支援をする全職員へ操作方法の周知を徹底しました。また、介護用リフトに対する職員の先入観を払拭するため、対象利用者、使用場面を選定し、利用者本人やご家族の了解を得た上で、試行的に活用に取り組んでいます。

現在使用しているリフトは吊られて移動中も揺れが少なく、角度調整もできるので、車椅子へ移る際の負担も軽減することができます。防水機能も付いており入浴時にも使用可能です。職員からは「身体的負担が軽減された。操作にも慣れ、不安なく移乗ができる。」との声が聞かれます。

また、利用者からも、「浴室での移乗は不安だったが、リフトであれば安心して移乗ができる。」との声が聞かれています。

今後も介護用リフトの活用を更に拡大させ、安全な利用者支援に取り組んで参ります。

リフトでベッドへ移乗

福祉現場からの主張
季刊誌
SAKIGAKE
定価300円
定期購読会員募集中!
発行 社会福祉法人 恵の園

特・別・栽・培
季節の野菜
赤城のリンゴ
社会福祉法人恵の園
シャローム
〒379-1103
赤城町津久田1700
TEL.0279・56・8510　FAX.0279・56・8520

1977年12月3日　第3種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の発行）
SSKP通巻6590号　2017年4月13日発行(4)

秋桜祭

昨年の11月5日、秋桜祭を開催しました。「地域との交流」「福祉啓蒙活動の推進」を目的とし、利用者の作品展示、作業体験コーナー、各種模擬店、福祉機器の展示、アトラクション披露等を行ないました。

作品展示では、各施設で製作した書道・絵画や立体的な作品等が展示され、作品にはそれぞれ利用者の想いが感じられました。

作業体験では、印刷班の作業を利用者が直接指導。来客者にオリジナルの名刺を作製していただきました。

アトラクションは、3つの団体をお招きし、利用者・来客者と共に楽しみました。「日本車椅子ダンス連盟」様による華麗な演技と利用者と一緒のダンス。「音あそびの会たんぽぽ」様からは、童謡の演奏。会場全員一緒になって、歌を歌いました。車椅子バスケットボールチーム「群馬マジック」様からは、実際にゴールポストに向かってシュートの実演をしていただきました。参加していただいた団体の皆さまには厚く感謝申し上げます。

今回、4年ぶりとなる秋桜祭でしたが、継続して開催できるように努めます。

車椅子ダンス

車椅子バスケ

めぐみの里　もちつき交流会

十二月三日（日）毎年恒例の渋川市勤労者協議会の方々との「もちつき交流会」が行なわれました。今年は暖かく、風もない穏やかな天気の中で行なうことができました。

協議会の方々にサポートしていただき、たくさんの利用者にもちつき体験を楽しんでもらいました。大声で掛け声を出す元気な人、静かでマイペースな人、それぞれでしたが、皆さん満面の笑顔を浮かべていました。また、顔なじみになった利用者と協議会の方との間では和やかな笑い声や話し声も聞こえていました。

つきたてのおもちは、協議会の女性会員の方々により、おろし大根、きなこ、胡麻、あんこ、みたらしの五種類の味付けとなりました。皆さん、大変美味しそうに食べていて、おかわりの要望がたくさんあり、お腹いっぱい食べることができました。

交流の最後にお礼と感謝の気持ちを込めて、手作りお菓子をプレゼントさせていただきました。準備の段階からお手伝いしていただきました協議会の皆さん、大変ありがとうございました。

（渋川市社協の地域歳末たすけあい募金より助成をいただきました。）

杵を持つ手に気持ちを込めて

〈カナン〉

節分

二月三日の節分の日にカナンでは、無病息災を祈念して、豆まきを行ないました。

豆まきの前に、まずは準備運動をして、体を温めます。

さらに、施設長から節分の由来を聞き、気持ちを高めます。「知らなかったわぁ。」という方も多く、皆さん熱心に耳を傾けていました。

そして満を持して鬼の登場です。ところが、優しい利用者の皆さんは、若くて格好良い鬼を前にして、なかなか豆を投げることができません。

しかし、容赦ない職員に誘われて「鬼は外！」と力強く豆を投げつけました。

この力強さに、鬼はたまらず退散し、見事、鬼退治をすることができました。

利用者の方々も職員も、今年一年元気に過ごすことができそうです。

鬼は外！

〈エステル〉

ゆうあいフェスティバル見学

一月十一日（水）、エステルでは、前橋の県庁へゆうあいフェスティバルの見学に出掛けてきました。

毎年、協力券を買い、見学と共にくじを引くことが恒例となっていますが、昨年は大雪で残念ながら見学に出掛けることができませんでした。

「今年はくじ引きに行こうね！買い物もできたらいいな。マンナのパンも買いたいな！」と、年明け前から気合の入った声が聞こえてきました。

待ちに待った当日、くじ引きをした後は、他施設の商品やパネル展示を見て回りました。締めは眺めの良い展望ホールに上がり、群馬県内を一望しました。午後のほんのひと時ではありましたが、楽しい時間を過ごしました。

マンナもパンを中心に販売させていただきました。他施設の方や地域の方、沢山の方にパンを買っていただくことができました。

他施設の商品をお買い物

行事だより

チョコ作り男子

あじさいの家　チョコ作り

2月14日はバレンタインデー。あじさいの家では、男性中心でのチョコ作りの日です。

毎年、おいしいチョコを完成させようと男性陣はがんばっているのですが、温めすぎたり、固まらなかったりと苦戦続き。

「今年こそ大成功させてみせる！」と一ヶ月前からレシピ集を見たり、型を作ったりと準備をすすめました。当日、若干の手違いがありつつも完成。昨年よりはうまくいったと、男性陣は自負していますが、女性陣は苦笑い。ご家族からは、「おいしかったですよ。」「ハートの形になっていましたよ。」と暖かい言葉をいただきました。

1977年12月3日　第3種郵便物認可（毎月18回1・2・3・5・6・7の発行）
恵の園ニュース（平成29年　春号）　SKP通巻6590号　2017年4月13日 発行(6)

Visitor & Event　あゆみ

＜12月＞

- ○ もちつき会　（めぐみの里）　(3日)
- ○ もちつき会　（グレイスホーム）　(6日)
- ○ 慰労会　（エステル）　(8日)
- ○ 年末会食会　（あけぼのホーム）　(14日)
- ○ もちつき会　（シャローム）　(14日)
- ○ クリスマス会食会　（あじさいの家）　(14日)
- ○ 慰労会　（ベテル）　(21日)
- ○ つきたての餅を食べる会　（あけぼのホーム）　(21日)
- ○ 防災避難訓練　（さくらホーム）　(21日)
- ○ 防災避難訓練　（バルナバホーム）　(22日)
- ○ クリスマス集会　(24日)
- ○ クリスマス会食会　（さつき）　(25日)
- ○ 大掃除、仕事納め　(28日)

＜1月＞

- ○ ニューイヤーカフェ（あけぼのホーム）　(1日)
- ○ 仕事始め、新年会　(4日)
- ○ ゆうあいフェスティバル　(10～12日)
- ○ はるなの会新年会　（グレイスホーム）　(10日)
- ○ 防災避難訓練　（クロスホーム）　(26日)
- ○ 防災避難訓練　（ダビデホーム）　(27日)
- ○ 新年会　（マイーム）　(29日)

＜2月＞

- ○ 防災避難訓練　（めぐみの里）　(23日)
- ○ 地震想定避難訓練　（さつき）　(23日)

人事往来

◎採用

〈正職員〉

12月	1日付	萩原　昭子	（カナン）
4月	1日付	佐藤　孝徳	（グレイスホーム）
4月	1日付	平形　美鈴	（あけぼのホーム）
4月	1日付	塩野谷利枝子	（あけぼのホーム）
4月	1日付	中澤　美月	（カナン）
4月	1日付	山上　良太	（カナン）

〈契約職員〉

12月	1日付	岡田さと江	（ポパイ）
4月	1日付	小島みや子	（シャローム）
4月	1日付	室岡　茜	（あけぼのホーム）

◎退職

〈正職員〉

3月31日付		山田　雅人	（グレイスホーム）
〃		岩崎　博道	（あけぼのホーム）
〃		中村　泰介	（グレイスホーム）
〃		高橋　博征	（あけぼのホーム）
〃		室岡　茜	（あけぼのホーム）
〃		吉田　千春	（あけぼのホーム）
〃		本澤あさな	（めぐみの里）
〃		竹内　祥泰	（さつき）
〃		小島みや子	（シャローム）

〈契約職員〉

12月	1日付	山本　瑞穂	（カナン）
3月31日付		山本　賢史	（グレイスホーム）
		後藤　一幸	（あけぼのホーム）
		天田　孝志	（めぐみの里）
		星野　利子	（シャローム）

お知らせ

●介護職員初任者研修

恵の園では、今年度も介護職員初任者研修を開講いたします。介護職員初任者研修は、在宅・施設を問わず介護サービスを提供するうえで必要となる基本的な知識・技術、そして介護を実践する際の考え方を習得するためのものです。恵の園では「地域により良い福祉人材を送り出したい」「福祉に少しでも興味・関心を持っていただきたい」研修を通して「何らかの行動のきっかけにして欲しい」との想いから開講しています。福祉・介護に少しでも興味のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

◎研修期間◎
五月十五日（月）～七月二十四日（月）の原則毎週月・火・木曜日
◎会場◎
社会福祉法人恵の園
◎定員◎
二十名
◎費用◎
五万二千円（テキスト代、実習費など含む）
◎申込方法◎
往復ハガキに住所、氏名、年齢、性別、生年月日、職業、電話番号、申し込み理由を記入の上、恵の園へ送付してください。
◎申込先◎
〒三七七-八五六七
渋川市渋川四四一八
社会福祉法人恵の園・
四月三十日（日）必着
お問い合わせ
0279-22-1730
（担当：鵜沢・佐藤）
平日午前八時三十分～午後五時三十分）

＊おくやみ＊

カナン
石沢美智恵さん
十二月二十六日（八十七歳）
グレイスホーム
桜庭　英彦さん
一月十日（七十四歳）
カナン
髙橋　貴男さん
一月二十一日（九十一歳）
カナン
外丸　トヨさん
二月二十六日（九十七歳）

編集後記

恵の園にも四月中旬を過ぎた頃からやっと桜が咲き始め、一面淡いピンクに彩られ一気に春がやってきました。

私たちも元気に一歩を踏み出したいと思います。

編集人　社会福祉法人　恵の園
群馬県渋川市渋川四四一八番地
発行人　身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三―一―十七
ヴェルドゥーラ祖師谷一〇二号室
頒価三十円

紙面の写真、個人名は、ご本人の了解を得て掲載しています。